

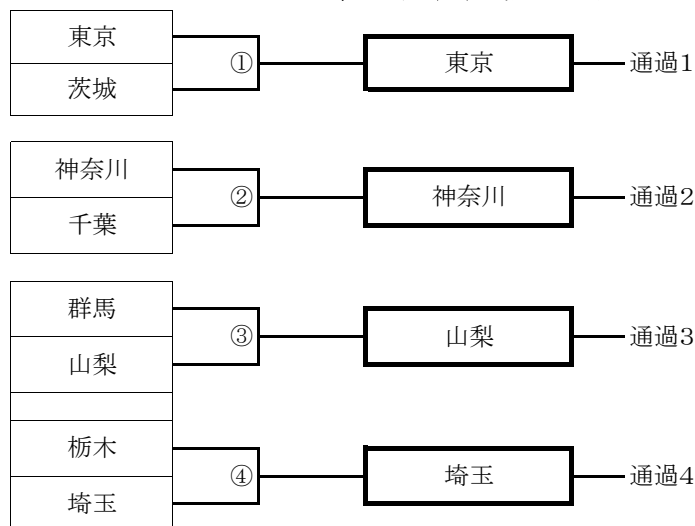
鹿児島特別国民体育大会 関東ブロック大会 組み合わせ 【成年男子の部】 7/8通過

期日 2023年8月5日(土)～6日(日) 予備日8月7日(月)
会場 大宮第二公園第一コート

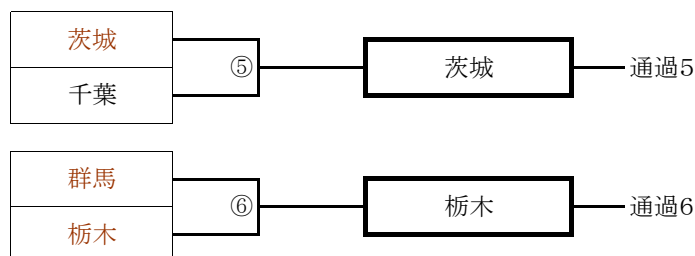
シード	都県	監督	選手		シード	都県	監督	選手	
1	東京	中村 吉人	1	高畑 里玖	3・4	群馬	中原 牧子	1	窪田 緑
			2	竹島 駿朗				2	宮本 大勢
5 ＼ 8	茨城	萩谷 弘通	1	小林 良徳	5 ＼ 8	山梨	権太 正弘	1	古谷 和真
			2	佐藤 大心				2	小野 海斗
5 ＼ 8	神奈川	石崎 勇太	1	小林 雅哉	5 ＼ 8	栃木	阿久津 定之	1	飯田 翔
			2	田中 瑛大				2	手塚 有莉
3 ・ 4	千葉	秋山 礼美	1	石井 涼太	2	埼玉	阪 幸信	1	小ノ澤 新
			2	丸田 健				2	江原 弘泰

●8月5日(土) 《1日目》

1次予選 3・4と5～8の配置は7/4(火)に抽選で決定

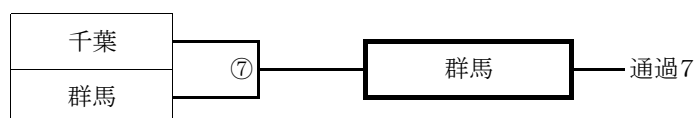


2次予選



●8月6日(日) 《2日目》

3次予選



⑦の敗者は不通過

試 合 結 果 記 録 表

成年男子 1 次予選

	東京	対	茨城		神奈川	対	千葉
S 1	高畑 里玖	8-4	小林 良徳	S 1	小林 雅哉	9-7	石井 涼太
S 2	竹島 駿朗	9-7	佐藤 大心	S 2	田中 瑛大	7-9	丸田 健
D	高畑 里玖	-	小林 良徳	D	小林 雅哉	8-6	石井 涼太
	竹島 駿朗		佐藤 大心		田中 瑛大		丸田 健
	群馬	対	山梨		栃木	対	埼玉
S 1	窪田 緑	7-9	古谷 和真	S 1	飯田 翔	5-8	小ノ澤 新
S 2	宮本 大勢	8-3	小野 海斗	S 2	手塚 有莉	1-8	江原 弘泰
D	窪田 緑	4-8	古谷 和真	D	飯田 翔	-	小ノ澤 新
	宮本 大勢		小野 海斗		手塚 有莉		江原 弘泰

成年男子 2 次予選

	茨城	対	千葉		群馬	対	栃木
S 1	小林 良徳	8-2	石井 涼太	S 1	窪田 緑	0-8	飯田 翔
S 2	佐藤 大心	5-8	丸田 健	S 2	宮本 大勢	8-9(3)	手塚 有莉
D	小林 良徳	8-3	石井 涼太	D	窪田 緑	-	飯田 翔
	佐藤 大心		丸田 健		宮本 大勢		手塚 有莉

成年男子 3 次予選

	千葉	対	群馬
S 1	石井 涼太	8-5	窪田 緑
S 2	丸田 健	3-8	宮本 大勢
D	石井 涼太	7-9	窪田 緑
	丸田 健		宮本 大勢

特別国民体育大会関東ブロック大会結果報告書

2023.8.6
栃木県テニス協会
監督:阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 令和5年8月4日(金)~8月6日(日)
- ・会場 大宮第二公園テニスコート
- ・主催 公益財団法人日本スポーツ協会・埼玉県・関東テニス協会
関東ブロック各都県体育・スポーツ協会・さいたま市
- ・主管 埼玉県・公益財団法人埼玉県スポーツ協会
埼玉県テニス協会・さいたま市スポーツ協会
- ・後援 スポーツ庁

2. 試合方法

- ・シングルス2ポイント、ダブルス1ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、ノーアドバンテージ方式とする。
- ・試合は初戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

成年男子 監督:阿久津定之 選手:飯田翔、手塚有莉
トレーナー:吉村健児 役員:渡辺国体副委員長

4. 試合結果

■成年男子 1次予選 対 埼玉県: 8月5日(土)

	栃木県	0-②	埼玉県
S 1	飯田 翔	●5-8○	小ノ澤新
S 2	手塚有莉	●1-8○	江原弘泰
D	飯田 翔 手塚有莉	打ち切り	小ノ澤新 江原弘泰

■成年男子 2次予選 対 群馬県: 8月5日(土)

	栃木県	②-0	群馬県
S 1	飯田 翔	○8-0●	窪田 緑
S 2	手塚有莉	○9-8● (7-3)	宮本大勢
D	飯田 翔 手塚有莉	打ち切り	窪田 緑 宮本大勢

所感

今年は例年になく猛暑日が続いているが、会場となったさいたま市は特に暑く選手にとっては、非常に過酷な戦いとなった。

今年に関東の本戦枠は7/8で、1県だけが落ち、とにかく1勝すれば本大会に出場できるチャンスが大きい関東予選となった。

本県代表の成年男子シングルス1の飯田翔選手は足利大学附属高校卒業で、現在、明治大学3年生で出身は隣の茨城県です。シングルス2の手塚有莉選手は、宇都宮市出身で、文星芸大附属高校卒業で、現在、東京国際大学4年生です。

1次予選の対戦相手は、第2シードの埼玉県、シングルス1の飯田選手は、小ノ澤選手に5ゲーム連取されたが、4ゲーム連取し4-5と巻き返した。しかし、あと1ポイントが取れず、5-8で惜しくも敗れた。シングルス2の手塚選手は、元全日本チャンピオンの江原選手に翻弄され1ゲームしか奪えず、0-2で埼玉に惨敗した。

続く2次予選の対戦相手の予想では、山梨県かと思われたが、第4シードの群馬県が山梨県に1-2で敗れ、群馬県と戦うことになった。シングルス1の飯田選手は、絶好調で群馬県の窪田選手に8-0と快勝した。シングルス2の手塚選手は、お互いサーブをキープし、2-2で迎えた5ゲーム、手塚選手が先にブレイクされ、その後はお互いキープし、後半6-7で宮本選手のサーブ、あとがなくなった手塚選手はネットに出て積極的に攻め、ボレーで2ポイント先取、相手のミスもあり4ポイント連取でブレイクに成功、7-7で手塚選手のサーブ、ここをきっちりキープしたかったが、ダブルフォルトとフォアハンドのミスが続きブレイクバックで7-8、相手に流れが行きかけたが得意のフォアハンドでエースを連発、次のゲームを再びブレイクバックし8-8でタイブレークにもつれた。タイブレークになってもサービスエースにフォアハンドが決まり7-3でタイブレークを制し、群馬県に2-0で勝ち、本国体出場を決めることができた。最後はみんなで抱き合い歓喜に沸きました。

本当に猛暑の中、栃木県の代表として頑張っていたいただいた選手、そしていろいろサポートしていただいたトレーナーをはじめ関係者の皆さん本当にありがとうございました。

本国体に行っても栃木県の代表として恥ずかしくない試合をしてきますので、今後とも応援をよろしくお願い致します。